

宮城県感染症発生動向調査情報

平成27年10月29日発行

－ 2015.10.19 ~ 10.25 ・ 第43週 －

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第40週	第41週	第42週	第43週
水痘	3 0.60	1 0.10	2 0.40				10 2.00	20 0.74	36 0.61	1,283			○	○
流行性耳下腺炎		1 0.10							1 0.02	304				
百日咳									0 0.00	1				
感染性胃腸炎	20 4.00	22 2.20	15 3.00	11 5.50	15 5.00	4 0.80		103 3.81	190 3.22	15,855	◎	◎	◎	◎
手足口病	20 4.00	15 1.50	9 1.80	3 1.50	7 2.33	4 0.80	1 0.50	55 2.04	114 1.93	10,729	◎	◎	◎	○
伝染性紅斑	1 0.2		6 1.20	1 0.50			1 0.50	5 0.19	14 0.24	1,570				
突発性発しん	4 0.80	4 0.40	5 1.00	2 1.00	2 0.67	5 1.00		22 0.81	44 0.75	1,576	○	○	○	○
ヘルパンギーナ		3 0.30						3 0.11	6 0.10	1,900	レ			
インフルエンザ	1 0.13		1 0.13					1 0.02	3 0.03	19,613				
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10		1 0.50		3 0.60		6 0.22	12 0.20	1,043				
流行性角結膜炎		1 0.33						2 0.33	3 0.25	162				
急性出血性結膜炎									0 0.00	3				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	39 7.80	8 0.80	4 0.80	1 0.50		26 5.20		74 2.74	152 2.58	6,006	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			1 1						1 0.08	5				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	1 1.00		1 1.00		6 6.00	2.00 0.40	11 0.92	309				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	1				
RSウイルス感染症	39 7.80	32 3.20	9 1.80	12 6.00	3 1.00	9 1.80	2 1.00	62 2.30	168 2.85	1231	○	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	78				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	3	2		1		7	10					
	川崎病	1												
	不明発疹症	1							4					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性2名、女性1名
石巻管内 男性1名、女性1名
仙台管内 男性1名、女性3名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

栗原管内 男性2名、女性3名
登米管内 男児*1名(第42週)、女児*1名

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

大崎管内 男性1名

カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙台管内 女性1名 (*Enterobacter cloacae*)

梅毒

仙台管内 男性2名

*男児、女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より

栗原管内のO26関連 第42週採取分 5件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定			中 間 報 告		
	第40週採取分 (9.28～10.4)	第41週採取分 (10.5～10.11)	第42週採取分 (10.12～10.118)			
RSウイルス	12件	17件	11件			
アデノウイルス	1件	0件	0件			
ライノウイルス	1件	0件	1件			
パラインフルエンザウイルス4型	6件	2件	0件			

*RSウイルスの分離の多い状態が継続しています。

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

RSウイルス感染症は、感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込んだり、ウイルスが付いた物に触れたりすることで感染する急性呼吸器感染症です。ワクチンや治療薬はなく、対処療法が中心となります。乳児や高齢者では症状が重症化しやすい傾向があります。全国的には8月下旬から患者報告数が増加しており、県内でも増加しています。仙台医療センターでもRSウイルスが多く分離されています。今後の動向に注意し、うがい・手洗い等の予防対策に努めましょう。

宮城県は、10月29日に「RSウイルスの流行について」(注意喚起)を行いました。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【手足口病】

仙南、登米、仙台管内で警報継続中

【A群溶血性レンサ球菌感染症】

仙南管内で警報継続中

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

